

平成19年度 地域密着型金融の取組みについて

興産信用金庫

地域密着型金融への取組みについては、平成15年度～平成16年度に実施した「リレーションシップバンキングの機能強化計画に関するアクションプログラム」の取組みから平成17年度～平成18年度「地域密着型金融推進計画」に受け継がれ、平成19年度からは、引き続きリレーションシップバンキングの考え方を踏まえた上で、恒久的な枠組みの中で、各金融機関の特性を活かしながら推し進めていくこととなっております。ここに平成19年4月より20年3月までの当金庫の取組みについてとりまとめましたので、ご報告申し上げます。

1. 地域密着型金融への取組みについて

平成19年度においては、C Iデザインの刷新や新中期経営計画の策定作業を通じ、平成20年3月に金庫創立85周年を迎える節目としても、より地域における存在感を高めていけるよう金庫の新たなビジョンを検討してまいりました。新中期経営計画の策定においては、地域密着型金融（リレーションシップバンキング）は重要なキーワードとなっており、地域のお客様一人ひとりへ価値のある商品やサービスをご提供していくことが地域社会の繁栄に貢献していけるものと考えております。千代田区に本店を置く都市信用金庫として、あらゆるライフサイクルの企業を支援できる質の高いビジネスモデルの構築に向け、これからも邁進してまいります。

2. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

(1) 創業・新事業支援

創業等を考えている先又は創業等間もない先に対し、情報や資金の支援を行っていくことに注力し、以下の取組みを実施しました。

- ・ 情報支援については、東京都中小企業振興公社、日本パートナー税理士法人、日本パートナー社労士法人と提携し、経営情報の提供や個別相談を実施
- ・ 資金支援としては、東京信用保証協会 創業アシストプラザによる保証制度を活用した制度融資、東京都中小企業振興公社の評価に基づく当金庫プロパー融資の新商品「ニュービジネス アシスト」を発売
- ・ 創業・新事業支援の融資実績

「創業アシストプラザによる保証を活用した制度融資」 **38件 269百万円**

(2) 事業再生・経営支援

平成15年9月に事業先支援による地域貢献と地元企業の資産健全化による経営体質の強化を図ることを目的として、審査部に事業再生・経営改善支援の専担部署として“経営サポートセンター”を設置し、平成20年3月末現在では中小企業診断士を含む5名体制により取組んでいます。

<平成19年度（19年4月～20年3月） 経営改善支援等の取組み実績>

	期初 債務者数	(単位:先数)				(単位:%)		
		うち 経営改善支 援取組み先 数	αのうち期末 に債務者区 分がランク アップした先 数	αのうち期末 に債務者区 分が変化しな かった先数	αのうち再生 計画を策定し た先数	経営改善支 援取組み率	ランクアップ 率	再生計画 策定率
	A	α	β	γ	δ	α/A	β/α	δ/α
正常先 ①	4,797	0		0	0	0.0%		-
要注意先 うちその他 要注意先 ②	1,123	22	1	18	22	2.0%	4.5%	100.0%
要注意先 うち 要管理先 ③	46	15	2	12	14	32.6%	13.3%	93.3%
破綻懸念先 ④	158	32	6	22	27	20.3%	18.8%	84.4%
実質破綻先 ⑤	184	0	0	0	0	0.0%	-	-
破綻先 ⑥	73	0	0	0	0	0.0%	-	-
小計 (②～⑥の計)	1,584	69	9	52	63	4.4%	13.0%	91.3%
合計	6,381	69	9	52	63	1.1%	13.0%	91.3%

3. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

中小・零細企業においては、不動産を所有している企業が少ないが、資金需要は旺盛であり、資金繰り安定化を支援していくために、無担保融資等への取組みに注力し、以下の取組みを実施しました。

- 平成15年10月発売より継続している無担保融資商品「企業活性化融資 アシスト1000」を積極的に推進しました。
- この商品は当金庫取引先だけではなく、未取引企業でも可。迅速な審査を行い、無担保で100万円まで、期限最長5年となっています。
- 「企業活性化融資 アシスト1000」実績 [127件 945百万円](#)
- その他の実績
 - 東京都アレンジによるCLO [1件 20百万円](#)
 - シンジケートローン [2件 500百万円](#)
 - 動産・債権譲渡担保融資 [7件 33百万円](#)